

12月向日市議会・杉谷伸夫議員の一般質問の報告

ゆめパレア

休館せず、利用者の声聞いて！

問 ゆめパレアむこうは休館せずに、どうすれば今後も運営継続できるかの方策を検討すべきではないか？

答 主要な機械設備が故障し、営業停止となれば、損失補填を求められるリスクがある。健康増進センターは、修繕工事を実施した後、1日も早い運営再開を目指したい。

問 緊急アンケートを行ったところ、予想を超える312人の回答が届いた。大多数が継続を求める声だった。頂いた声は全て市長に提出したが、議会が終わったらすぐにでも利

用者の皆さんの声を聞いて頂きたい。

答 4月からの市民の皆様へのアンケートの前に、利用者の皆様のご意見を伺うということについては、しっかりと協議してしていくということで内部では認識している。(部長)

★12月21日、市は4月から休館を発表しました。大変遺憾です。向日市は利用者・市民と共に継続できる方策の検討を行って頂きたい。



不登校の子の親支援が重要

不登校

問 不登校の子の親から、「学校からの情報提供はほとんど無かった」「放っておかれ感が半端ない」という声を聞く。この声を、教育委員会はどのように考えるか？

答 そのような意見があるとの報告には接していない。家庭の事情により、保護者とのコミュニケーションが難しいケースもあるので、そうした声となって現れることも考えられる。

問 不登校の子を支えるのは親だが、親もどうしてよいかわからず、親への支援が重要だ。

不登校の親の会など当事者の声を聞くため、意見交換や懇談の場をもてないか。

答 不登校の当事者や支援者の会の方との意見交換についてですが、いろんな活動に取り組んでおられる人の声は、お聞きして参りたいと考えている。(教育長)

★「支援が届いていない」のを、「コミュニケーションが難しい親の側の問題」にしてはなりません。教育委員会にそうした親の声が届いていないこと自体に問題があると思います。

障がい児支援

支援の不足は明らか

問 障がいのある子どもや発達に心配がある子どもに療育をおこなう「障がい児通所支援」のサービスは、乙訓圏域は全国水準と比べて明らかに少ない。多くの保護者から指摘され続けている。たとえば、就学前の子どもに対する「児童発達支援」の支給決定量は、全国平均は月16日以上が約70%なのに、向日市は2.5%しかない。どうお考えか？

答 児童発達支援は足りてないと思ってい

る。しかしポニーの学校は手一杯で、民間の事業所も少ない。これからどうしていくかは大きな問題だとずっと思っている。何とかしたいとは思っている。(市長)

★乙訓圏域で民間事業者がいつまでたっても少ないのは、行政が支援サービスの提供を絞っていることが原因になっていると考えます。まず支援サービス量を全国並に引き上げる方針を明確にして、取り組むべきだと思います。